

一般社団法人 日本医学物理学会
平成 25 (2013) 年度 第 5 回理事会議事録 (抄)

日時:平成 26(2014)年 1 月 25 日(土)12:00-17:00

場所:首都大学東京 秋葉原キャンパス 会議室 C

出席者:遠藤・松本・新保・櫻井・荒木・小口・齋藤・榮・西尾・福田(理事)、福村(監事)

欠席者:奥村・門前(理事)、金井(監事)

参会者:福士・和田・山本(大会長)、赤羽・蓑原(委員長)、乳井(総務委員)

議題:

1. 前回議事録の確認
2. 新入会員・退会者の承認
3. 理事・監事選挙結果報告
4. 理事会推薦の理事候補について
5. 2014 年度事業計画
6. 2014 年度予算
7. 107 回(2014 春)、108 回(2014 秋:日韓)、109 回(2015 春)、110 回(2015 秋)大会の準備状況について
8. AFOMP 総会報告
9. 英文誌について
10. 委員会報告
11. 名誉会員の推薦
12. JBMP 会員によるデータベース基本情報修正のワンストップサービスについて
13. その他

資料:議案書冊子

席上配布:資料 8(AFOMP 総会報告)

資料 10(RPT 誌 編集委員会)

資料 10(国際交流委員会報告)

別途 バナー広告・「医学物理」広告掲載案内、同 送付先一覧

議事

出席者・参会者、定足数確認の後、会長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

1. 前回議事録の確認

資料により前回理事会(11月16日)議事録案を通読・確認し、3か所の修正を施し、次回確定することとした。

2. 新入会員・退会者の承認

資料に基づき、庶務理事より11月1日-12月31日の入退会・資格変更が報告された。審議の結果、原案通り承認した。これにより12月末時点の会員総数は2,163名となった。

なお会費未納により年度末退会见込の一覧については、事務局より最新の状態で再度理事会メンバーに報告し、それに基づき知る辺に働きかけをすることとした。

3. 理事・監事選挙結果報告

資料に基づき、選管委員長(欠)に代って庶務理事が理事・監事候補選挙の結果を報告し、その結果を承認した。

4. 理事会推薦の理事候補について

選挙結果の承認に引き続き、理事・監事選挙細則第6条による候補者の選出に移った。

この選出の方法につき議長が意見を徴したところ、当初の順位を尊重すべきとの意見が出された。別に、理事会選出候補が制度化されているのは分野バランスや学会運営の継続性を担保するためであるが、順位順でそれが確保されているとみられるならば順位順で良いとの見解あり、さらに既往の実績と2014年度の活動を展望した選考を求める意見が出された。

暫時意見交換の後、議長は以下の提案を行った。すなわち、議論の経緯から意見の一致した3名については先んじて候補として確定し、残1名を議題3で決した12名と左で確定した3名都合15名以外の3名のうちから投票により決するというものである。理事会はこれを承認した。

第1回投票では、定款第30条に定める決議の有効性を満たす者がなく、上位2名につき再度投票を行い、1名を選出した。以上の結果、4名が理事候補として選出された。

5. 2014年度事業計画

資料に基づき、庶務理事より計画の概要提案がなされ、会長より特定の項目につき詳細説明が加えられた。

市民公開講座については、学会の目指す方向性からして、来年度も開催する。過去2回は秋季大会と併催であったが、2015年度は日韓大会で韓国開催のためそれができない。よって秋季に開催されるJBMP講習会の前後に開催することとした。この行事については、必要があれば実行委員会等適宜の組織を設置することとした。

2014年度特有の事業として日韓大会開催援助がある。これは、従来韓国開催大会の経験から参加者激減を防ぐため、英語発表を奨励するため等の趣旨で設けるもの。

公益社団法人への移行申請は、法人化を機関決定した折から織り込み済のもの。一般社団化して2年度以上が経過し、頃や良しと見る。

以上の説明を受けて検討を加えた。

年度途中での公益法人移行では役員交代の必要などはないかとの質問あり。これは必要ないことを確認した。
以上慎重審議の結果、2014年度事業計画を承認した。

6. 2014年度予算

資料に基づき、会計理事より提案説明がなされた。

2014年度予算は、解説記事中心となった「医学物理」誌の刊行正常化、秋季大会の韓国開催などの特色あり。収入については、会員数の推移と収納率を厳しく見積もり、また実態に即した編成とし、経常収益計26,143,000円と計上した。

支出については、上記の特色のほか、事務局業務の拡張にともなう委託費増、消費税納付義務の発生等を織り込み、経常費用計25,906,000円と計上した。

これにより、単年度経常増減額は237,000円(黒字)となる。

また特別会計(研究成果報告奨励金)予算は、寄付金・一般会計からの繰入は前年同様として計上収益計600,000円と計上した。支出はAOCMP2014で2名支援を見込み、200,000円の経常費用を計上した。これにより前期繰越と併せて500,000円の繰越を生じるが、これをもってWC2015に備えることとした。

以上を承けて検討を加えた結果、2ヶ所の文言修正を加えて原案を承認した。

なおここで席上配布の別途資料(広告掲載案内・同送付先一覧)が紹介された。これにつき会長より、学会財政に資するため、理事会メンバーで心当たりの筋があれば口添えを願いたい旨の発言があった。

7. 107回、108回、109回、110回大会の準備状況について

<第107回大会>

第107回大会長より口頭で現況報告がなされた。演題数は181を数え、抄録集の登録を完了したこと、CyPos登録が2月5日に開始となることが報告された。

演題についてこれ以上増となる場合、使用室の増は見込めないことから、1演題当りの時間を短縮するくらいしか途がないことが指摘された。

<第108回大会>

資料により1st Announcementが紹介された。また資料8の国際交流員会報告のうちKJMP関連事項はここで報告がなされた(担当国際交流委員長)。

旅行会社によるホテル・アコモデーションがあること(会場近くで1か所、市内で1か所)、JSMPの活動外ながら学術振興会の二国間交流事業の申請準備中であることが報告された。

<第109回大会>

資料に基づき、第109回大会長より準備報告された。直近では2月13日にJRC2014実行委員会に実行委員長が出席の予定。

<第110回大会>

資料に基づき、第110回大会長より計画の概要が発表された。

会期:2015年9月18日(金)に講習会、19・20日(土・日)に大会

会場:北大札幌キャンパス

以上の概要を発表し、理事会の要望提示を求めた。これに対して市民公開講座を加えるべき指摘あり。市民公開講座は市民に対しては休日開催が望ましいが、大会プログラム全体の編成で無理のないように配置すべ

きことが、会長より指摘された。

以上を基本とし、向後計画を練り上げてゆくこととした。

8. AOCMP 総会報告

資料に基づき、国際交流委員長より報告がなされた。昨年 12 月 13 日 (AOCMP 会期中) にシンガポールで開催された AOCMP annual council meeting に、会長、2 理事が日本代表として参加。

14th AOCMP をベトナム・ホーチミンで開催することを確認し、15th AOCMP を中国・西安で開催することを決定した。

日本代表から”Radiological Physics and Technology”を AOCMP の official journal とすることを提案し、Scientific Committee で検討することを決定した。同委員会メンバーとして JSMP の理事 1 名を推薦した。

9. 英文誌について

資料に基づき、担当理事より現況の報告がなされた。

刊行費用の負担・個人情報保護に関する覚書が JSRT との間に取り交わされたこと、JSRT との重複会員照合に関する申し合わせが成立したことが、それぞれ写本提示により報告された。

冊子体の発行状況については、JSRT では昨年中に「送達を希望する場合は申し出ること」という形式で申し出を募った結果、7(1)は 900 冊となった(JSMP は従来通りで 2,200 部)。

従来の方針また状況の推移から、JSMP も会員に対して「送達不要の場合は申し出ること」という形式で申し出を募ることとした。2 月予定の 2014 年度会費請求の際に、本件告示を同封することとし、同時にホームページ掲載・一斉メール発信等複数の手段で周知をはかり、ハードルの低い方式で申し出を収集することとした。具体的な手法は庶務理事のもとで事務局が当る。

10. 委員会報告

既存の年間活動報告の様式で、各委員会より活動経過報告がなされた。

本日提示の資料については経過版として見、これらに対して意見・情報を交換し、認識共有をはかった。

<計測委員会>

資料に基づき、計測委員長より報告がなされた。「標準計測法 12」をめぐる現状情報交換がなされた。

<教育委員会>

資料に基づき、教育委員長より報告がなされた。

サマーセミナー等の過去の講義画像を、どこかのサーバにアップして配信というアイデアが示された。これは予算措置を要することが指摘された。

全国がんプロの現状についての認識開陳があり、これに基づき意見交換を行った。

また昨夏のサマーセミナー収支の補正版が報告され、これを承認した。

<編集委員会>

資料に基づき、編集委員長より報告がなされた。2013 年度は、JJMP を解説記事中心にシフトし、刊行正常化に傾注、年度末までにこれを達成の見込みが報告された。

また同誌の J-STAGE 登載も始まったが未登載分あり、定期的公開の方途確立の必要なことが報告された。

ここで二重投稿問題について意見交換を行った。目下もっともグレーなのが proceedings 類に掲載の論文。

JJMP では reference に入れるよう指導しているが、なお投稿規程等で注意喚起することとした。

<RPT 誌編集委員会>

資料に基づき、担当理事より報告がなされた。なお JSRT との二重送達解消の件は別項の通りで、電子版閲覧利用増に伴う冊子体作成部数の適正化を検討したことが報告された。

また 2014 年 4 月に贈呈の土井賞につき、賞状案と式次第が報告された。本件は後日(27 日)開催の同委員会で議論される予定。

<QA/QC 委員会>

資料に基づき、QA/QC 委員長より年間の活動概況が報告された。

<用語委員会>

資料に基づき、用語委員長(欠)に代って出席の用語委員より報告がなされた。後日(29-30 日)委員会を東京で開催の予定で、活動報告は改めて行う。

<教科書 ad hoc 委員会>

資料に基づき、同委員長より現況報告がなされた。出稿遅延により刊行が停滞する場合、必要によっては執筆者交代を考慮するもあり得る段階であることが報告された。

<科研費対応 ad hoc 委員会>

資料に基づき、同委員長(欠)に代って庶務理事より報告がなされた。大会での特別企画等を展開してゆくことが報告された。

<国際交流委員会>

席上配布資料に基づき、国際交流委員長より活動状況が報告された。13th AOCMP に際して研究成果報告奨励金支給を公示したところ 1 名応募あり、委員会で審査の結果支給を認め実施した。既に国際会議参加報告を JJMP 編集に提出済。

ベトナム医学物理学会より 2 月に同国にて開催のワークショップに協力要請あり、国際交流委員長と理事 1 名が出席予定であることが報告された。

IOMP の Education and Training Committee (JSMP 代議員が委員)からの調査依頼については、JBMP とも協力の上回答する方針。

<防護委員会>

防護委員長より口頭で、現況の報告がなされた。詳細は後日書面をもって行う。

ここで諸国の防護関連活動との同期についての意見交換を行った。

11. 名誉会員の推戴

資料に基づき、会長より 7 会員について、経歴の紹介とともに名誉会員に推戴することが提案された。

慎重審議の結果、満場一致でこれを承認した。なお本件は、事務局より各ご本人に内意を伺い、受諾の場合は昨秋推戴の名誉会員とともに来たる社員総会の直後に名誉会員証贈呈を挙行することとした。

12. JBMP 会員によるデータベース基本情報修正のワンストップサービスについて

資料に基づき、JBMP 庶務理事を兼ねる理事より JBMP からの提案・申し入れがあった。

目下医学物理士(名誉医学物理士含)データベースを構築中で、同機構ホームページに JSMP と同様のマイページを開設し、(左記データベースに連携して)有資格者名簿閲覧や自身の情報について修正手続を行え

る仕様としている。

については、同機構マイページ内で行った修正について、それが JSMP 会員である場合、本人が可とする場合はその情報を JSMP のデータベースにも反映する構造とすることの提案・申し入れである。

これを承けて慎重審議の結果、これは JSMP 会員にとっても利便性向上となるので、申し入れを受諾するとともに、JSMP のマイページでも JSMP の仕様に準じて JBMP 側への情報反映ができるようにすることとした。

13. その他

<2013 年度事業報告(案)>

資料に基づき、庶務理事より本年度活動報告(案)が示された。本件は年度完結の後に最終版を作成して総会に上程することとした。本日提示の資料は経過版として見た。

<2013 年度予算執行状況>

資料に基づき、会計理事より報告がなされた。12 月末時点では約 2,800,000 円の黒字で推移している。期末までに、収入の大幅増は見込まれないもとので、JJMP の編集・印刷・発送費が 2 号分発生、本日分会議費、事務局業務委託費の発生が必ずあるため、収支は均衡くらいで収束するのではないかとの見解に落ち着いた。なお決算は監査を経たのちに総会に上程する。

<JASTRO 調査団結成協力依頼>

資料に基づき、病院施設における誤照射事故につき JASTRO に調査依頼があり、さらに同学会が JSMP 他に合同調査団を呼びかけた経緯が、会長より報告された。本件は既にメール審議済で、調査団結成とメンバーの指名を承諾する旨を返答したことが報告された。

<放射線治療装置における放射化物の管理に関する学会標準>

庶務理事より、標記案についてはメール審議により承認されたことが報告され、これを確認した。

<他団体行事共催>

資料に基づき、庶務理事より 2 月開催予定の行事の後援依頼の到来が報告され、これを承認した。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17:00 に閉会を宣言して散会した。

議長 会長 _____ (印)

署名人 副会長 _____ (印)

署名人 監事 _____ (印)